

16番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 子どもの育ちと親の働きを応援できる保育園に</p> <p>【質問趣旨】</p> <p>長く続く経済の停滞で賃金が増えない上に、新型コロナウイルス感染症や物価高騰が若い世代や子育て世代に大きな打撃を与えている。</p> <p>子育て世帯は共働きで、妊娠・出産後の女性の多くが早期に職場復帰し、パートナーと共に働きながらの子育てを希望している。その背景には、「キャリアが途切れないよう」「経済的にも早期に」などの願いがある。</p> <p>全国的にも少子化で子どもの人口は減っているが保育の需要は増えており、瀬戸市でも同様である。</p> <p>(次ページ)</p>	<p>(1) 瀬戸市の保育の現状について</p> <p>(2) 瀬戸市保育所整備・運営計画について</p>	<p>①平成30年度から令和6年度にかけての、0～5歳児の人数や保育の申込者数、待機児童数などのデータ、これまでの一般質問や委員会質疑を通して把握する限り、新型コロナウイルス感染症の拡大で乳幼児の保育申し込みが減少し、隠れ待機も含めた待機児童が減少した時期もあるが、少子化で子どもが減っていても保育の需要は減っておらず、むしろ増えていると考えるが、市の認識を伺う。</p> <p>②待機児童数は、国の基準の変更により減少しているが、実際には保育の申込みをしたけど入れなかった隠れ待機も含む保育園の入園待ちの児童数は、令和2年、令和3年度、令和4年度のコロナ禍を経て、令和5年度から増加傾向である。保育園が待機となっている児童の年齢別の人数と保育園に入れられない児童を減らせない要因を伺う。</p> <p>③市内全保育園の受け入れ可能な定員と令和6年1月1日現在の各園の在園児数の一覧をみると、公立10園の定員1,160人に対して在園児が905人(78%)、公設民営、小規模を含む私立園の定員1,237人に対して在園児が1,215人(98%)となっている。公立園では定員にゆとりがあるが保育園に入れられない児童を減らせないのはなぜか伺う。</p> <p>①瀬戸市保育所整備・運営計画策定を担当する部署と、計画策定の目的、及び計画にはどのような内容が記されているか伺う。</p> <p>②瀬戸市保育所整備・運営計画の策定や改定はどのようなタイミングで行われるか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>しかし、入園申し込みをしても入園できず「瀬戸に引っ越したのに保育園に入れず復職できない」「復職できず家計が苦しい」などの声が届いている。これらの状況の改善が進まない中、瀬戸市保育所整備・運営計画には公立保育園の統廃合計画が示されていたことがわかった。</p> <p>計画は一部改訂が行われ、改訂後の計画には公立2園を統合する計画や、廃園予定だった公立園を復園して別の公立園と統合する計画など、具体的で大きな改訂があった。</p> <p>市の子育て政策の根幹ともいえる保育園に関する計画が、どのような経緯で改定されたのか。計画には、保護者や現場の願いなど保育現場の実態が反映されているかを質問する。</p>	<p>(3) 一部改訂された瀬戸市保育所整備・運営計画について</p>	<p>③令和2年4月スタートの計画が、令和5年3月31日付で一部改訂されているが、改訂に至った経緯（計画変更の起案から決裁等）を伺う。</p> <p>①計画の一部改定のきっかけとして「学校統廃合後の跡地活用が明らかになった」こともあると聞いており、学校跡地活用の行方が保育園の計画にも影響を及ぼしていると考えるが、担当課である政策推進課は、瀬戸市保育所整備・運営計画の内容を把握していたか伺う。</p> <p>②公立保育園4園を2園に統廃合する計画が一部改訂によって示されている。これは瀬戸市公共施設等総合管理計画のファシリティマネジメントの方針に則ったものと考えるが、市としてのメリットと子どもや保護者にとってのメリットについて伺う。</p> <p>③改訂後の計画には、人口の変化等に伴い改訂されている部分と、そうではない部分がある。具体的には、待機児童の人数の変化は、改定時期の数値に改訂されているが、保育園の数は2章では改定時期の保育園数に改訂され、3章では改定前の数値のままになっている。また障害児等、支援を要する児童の数も改定時期の数値には改訂されていない。なぜこのような違いがあるのか伺う。</p> <p>④改訂後の計画（9ページ）には、災害危険区域内の保育所について「施設の移転をも含めた対応も視野に入れ検討する必要がある」と一文追加されている。この一文を追加した理由を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

26番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(4) 一部改定された計画の水北保育園と水南保育園の統合について</p>	<p>⑤災害危険区域にある保育園の一つとして、古瀬戸保育園は、改訂前の計画（16ページ）では「古瀬戸小学校の跡地を利活用していく中で今後の方向性を定めていく」とあったが次のように変更されている。「古瀬戸保育園は土砂災害警戒区域に位置することから移転が望まれる。東明連区は人口も増加傾向にあることから現在休園中の赤津保育園を復園し、古瀬戸保育園と統合することも検討していく」と、改訂前には「保育所としての再開の見込みは無く廃園の予定」とあった赤津保育園の方針を180度転換すると同時に改訂されている。</p> <p>改訂前の計画策定時（令和元年度末）に、古瀬戸保育園の今後の方針「古瀬戸小学校の跡地を利活用していく中で今後の方向性を定めていく」という計画内容は、保育課と政策推進課では共有されていたか伺う。</p> <p>⑥改訂後の計画（17ページ）には、追加で「近年増加する障害児に対応出来る施設とし、バリアフリーや健常児障害児ともに生活できる空間を有する等の配慮を取り入れたものにする予定であり、本市の公立保育園の北の拠点園としての機能を有するものとします。」とあるが、拠点園とはどのような機能を持ち役割を果たすものか伺う。</p> <p>①改訂後の計画（17ページ）には、公立保育所について、「(仮称)瀬戸中水野駅周辺土地区画整理事業により、老朽化した水北保育園と老朽化及び土砂災害警戒区域に位置する水南保育園を統合し、中水野駅周辺の区画へ上記2園を統合した新たな保育園を設置する予定です。」と追加されている。この2園の統合計画は、現在進めている区画整理事業にも計画されているのか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

26番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>②「(仮称) 瀬戸中水野駅周辺土地区画整理事業により、(中略) 水北保育園と(中略) 水南保育園を統合し」と記されており、水北保育園と水南保育園の統合の前提は区画整理事業であるように読める。区画整理事業と保育園統合の2つの事業の関連性を伺う。</p> <p>③計画の改定で水北保育園と水南保育園を統合することにした理由を伺う。</p> <p>④水北保育園と水南保育園に通っている家庭の連区を調べたところ、水北保育園では、約9割(87%)の子どもが、保育園のある水野連区と、隣接する西陵連区から通っており、水南保育園も同様に調べたところ、約7割(68%)の子どもが、保育園のある水南連区と、隣接する効範連区から通っていることが分かった。どちらの保育園も園がある地域を中心に周辺地域に住む家庭の保育を担っていると考えますが、市の認識を伺う。</p> <p>⑤水北保育園と水南保育園の統合により、現在の水北保育園よりも更に北上した中水野駅周辺への移転と統合は、特に水南保育園の子どもや親にとっては負担が大きくなると考えるが、見解を伺う。</p> <p>⑥災害警戒区域にある水南保育園は、水南連区内での移転を検討すべきと考えるが、これまでどのような検討がされてきたか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

26番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>⑦水北保育園と水南保育園の統合で、水南連区からは公立保育園がなくなり、0～5歳人口の多い水南連区と効範連区の保育の受け皿がなくなる。また水野連区と西陵連区の子どもたちの保育の受け皿にも影響を及ぼし、待機児童の解消どころか待機児童を増やすことにもなりかねない。子育て支援とは逆行する水北保育園と水南保育園は統合すべきでないが市長の見解を伺う。</p>

- 備考
1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
 2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
 3. MS明朝体、12ポイントで記載する。